

大学教育と職業との接続を考える

一昨年のリーマンショックを契機とする世界金融恐慌は、日本の経済と人々の暮らしに大きな影響を与えるとともに、大学生の就職事情を突然に暗転させました。本年8月に発表された文部科学省の調査によれば、今春大学を卒業した学生たちの実に2割が、就職も進学もしない「進路未定者」となるとされます。

肥大化を続けてきた就職・採用活動は、学生と企業をともに疲弊させ、また大学の教育活動にもますます多大な影響を及ぼすようになっており、博士課程を含む大学院段階での問題も深刻化してきています。これまで、この問題をめぐる構造的な環境変化を直視して、新たな状況に即した対策を講ずることは先送りされてきましたが、既に矛盾の拡大は限界に達しています。

こうした中で、日本学術会議では、「大学教育の分野別質保証の在り方について」と題する報告書を取りまとめました。同報告書は、若者の教育から職業への移行を取巻く厳しい状況変化を踏まえて、従来の発想を転換し、新しい対策の枠組みを構築する必要性を提言しています。

本シンポジウムでは、同報告書の一つの出発点として、大学教育と就職をめぐる諸問題について、大学関係者のみならず、経済界や学生自身の参画も得て、幅広い関係者で議論を行い、今後向かうべき方向性と、そのための具体的な対策についての認識を共有し、問題状況の克服に向けた取組みを促進することを目指します。

第1回「大学生の就職をめぐる諸問題と当面の打開策」

日時：平成22年11月22日(月) 13:00～17:00(12:00 開場)

会場：東京大学安田講堂(東京都文京区本郷)(定員：1000名 参加無料)

基調講演 高祖敏明 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会副委員長、学校法人上智学院理事長)

パネリスト 出井伸之 (クオンタムリープ株式会社代表取締役)
(五十音順) 大橋秀雄 (学校法人工学院大学理事長)

講演 勝間和代 (経済評論家、中央大学ビジネススクール客員教授)
寺田 学 (内閣総理大臣補佐官、新卒者雇用・特命チーム・リーダー)

勝間和代
児美川孝一郎 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員、法政大学キャリアデザイン学部長・教授)
寺岡 秀 (首都大学東京 都市教養学部4年生、NPO法人POSSE)
牧原 晋 (日本電気株式会社人事部長)

第2回「大学教育と産業社会の関係について考える」

日時：平成22年12月20日(月) 13:00～17:00(12:00 開場)

会場：東京大学安田講堂(東京都文京区本郷)(定員：1000名 参加無料)

講演 北原和夫 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員長、国際基督教大学教養学部教授)
北森武彦 (東京大学大学院工学系研究科長・工学部長・教授)
井上 洋 (社団法人日本経済団体連合会社会広報本部長)
前原金一 (公益社団法人経済同友会副代表幹事・専務理事)
広井良典 (千葉大学法経学部教授)

パネリスト 居神 浩 (神戸国際大学経済学部教授)
(五十音順) 大久保秀夫 (株式会社フォーバル会長)
北森武彦
広井良典
前原金一

(敬称略)

<主催> 日本学術会議、東京大学、朝日新聞社

<後援> 文部科学省(申請中)、厚生労働省(申請中)、経済産業省(申請中)、(社)国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会(申請中)、(社)日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会

申し込み先：<http://www.asahi.com/edu/sympo/>

受付期間：平成22年10月22日(金)～11月19日(金)

※受付期間中に応募人数に達した場合は、受付を終了させていただきますのでご了承ください。

問い合わせ先：日本学術会議事務局 審議第一 課題別担当(TEL:03-3403-1091)



第1回「大学生の就職をめぐる諸問題と当面の打開策」

近年の大学生の就職・採用をめぐる、①早期化や長期化、プロセスの煩雑化など、就職・採用活動の在り方自体に由来する困難の増大と、②景気の悪化によって就職先を見つけれないまま卒業する学生や、「就職留年」を選択する学生の増加という2つの問題が深刻化しています。また、これら2つの問題は、既卒の未就業者に対する不利な取扱いという採用慣行によって、互いに結びついていることも広く認識されるようになってきました。

かつてのバブル崩壊以前の日本社会においては、長期にわたる経済成長と、相対的に低い大学進学率の下で、恒常的な人手不足状況が存在しており、そこでは、現在よりもずっと短期の就職・採用活動を通じて、卒業と同時に殆どの学生が就職することが可能でした。しかし、既にこうした状況が大きく変化して久しい現在、大学教育と職業との接続に関わるシステム全体を根本的に問い直すことが必要となっています。

シンポジウムの第1回目では、大学・企業・政府、そして学生を含むステークホルダーの間で、現在の問題状況に対する認識の共有を図るとともに、当面取るべき具体的な対策を提案することを目指します。

<プログラム> (開場・受付開始 12:00~)

開会挨拶 13:00~13:10

第1部 基調講演 13:10~13:50

「大学教育と職業との接続について」 高祖 敏明 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会副委員長、学校法人上智学院理事長)

第2部 講演 13:50~14:30

「新卒一括採用と若者不幸社会～誰がどう得をしているのか。当事者はどのような意識なのか」

勝間 和代 (経済評論家、中央大学ビジネススクール客員教授)

「政府の新卒者雇用支援対策について」 寺田 学 (内閣総理大臣補佐官、新卒者雇用・特命チーム チーム・リーダー)

休憩 14:30~14:45

第3部 パネルディスカッション 14:45~16:50

パネリスト(五十音順)

出井 伸之 (クオantumリープ株式会社代表取締役)

大橋 秀雄 (学校法人工学院大学理事長)

勝間 和代

児美川 孝一郎 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員、法政大学キャリアデザイン学部長・教授)

寺岡 秀 (首都大学東京 都市教養学部4年生、NPO法人POSSE)

牧原 晋 (日本電気株式会社人事部長)

コーディネーター: 山上 浩二郎 (朝日新聞編集委員)、本田 由紀 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員、東京大学大学院教育学研究科教授)

閉会挨拶 16:50~17:00

(敬称略。講演のタイトル等が変更になる可能性があります。)

第2回「大学教育と産業社会の関係について考える」

大学教育と職業との接続は、学生の就職・採用活動だけに限りません。大学での学修期間の全体を通して学生が身に付けることと、学生が社会に出て、長い職業生活を送る中で必要とされることが、お互いの内容において接続していることが重要です。現在の就職・採用活動が、大学教育に深刻な圧迫を与えている状況を改善することは不可欠ですが、同時に、教育自体の職業的意義の向上を図っていくことは、大学が担う大きな課題です。

その際忘れてならないのは、「若者」としての学生・勤労者の存在です。東西冷戦の終結以降、グローバル化が急速に進行する中で、世界も日本も大きく変化してきています。こうした新たな環境の下で成長してきた現代の若者について、大学や企業は、その姿を適切に認識し、彼等が持つ力を伸ばし、活躍させることができていのでしょうか。

シンポジウムの第2回目では、現在の日本が未来に向かって築いていくべきものは何かという問いかけを念頭に置きながら、大学教育の職業的意義の向上策について、大学教育、産業社会、そして若者の、三者の関係という視点を通して考察します。

<プログラム> (開場・受付開始 12:00~)

開会挨拶 13:00~13:05

第1部 講演 13:05~14:45

「学士課程教育の質保証」 北原 和夫 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員長、国際基督教大学教養学部教授)

「高度人材の育成と活用」 北森 武彦 (東京大学大学院工学系研究科長・工学部長・教授)

「産業界の求める人材像と大学教育への期待」 井上 洋 (社団法人日本経済団体連合会社会広報本部長)

「企業の人材養成力と大学教育で培う力」 前原 金一 (公益社団法人経済同友会副代表幹事・専務理事)

「人生前半の社会保障とこれからの若者・大学・日本社会」 広井 良典 (千葉大学法経学部教授)

休憩 14:45~15:00

第2部 パネルディスカッション 15:00~16:45

パネリスト(五十音順)

居神 浩 (神戸国際大学経済学部教授)

大久保 秀夫 (株式会社フォーバル会長)

北森 武彦

広井 良典

前原 金一

コーディネーター: 山上 浩二郎 (朝日新聞編集委員)、本田 由紀 (日本学術会議 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員、東京大学大学院教育学研究科教授)

閉会挨拶 16:45~17:00

(敬称略。講演のタイトル等が変更になる可能性があります。)